

令和7年度 りんご防除ごよみ

回数	月	散布時期	対象病害虫	薬 剤 名	希 釈 倍 率	水100 ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	使用時期、 年間使用回数	注意事項
休眠期			輪紋病・越冬害虫	粗皮削り及び輪紋病病斑(いぼ皮)の切除・削り取りを行い、パッチレートを塗布する。					
1	4月	展葉期	ハダニ類	トモノールS	200倍	500ml	300 ℓ		発芽後3週間まで散布可能
2		中旬	黒星病・斑点落葉病	アントラコール顆粒水和剤	500倍	200 g	500 ℓ	45日前、4回以内	
			ハマキムシ類	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100 g		30日前、4回以内	
3		(開花直前)	黒星病・赤星病・うどんこ病	アンビルフロアブル	1,000倍	100ml		7日前、3回以内	開花期前後は黒星 病の重点防除時期
			褐斑病・黒点病	トレノックスフロアブル	500倍	200ml		30日前、5回以内	
4	(落花直後)	黒星病・黒点病・うどんこ病	カナメフロアブル	4,000倍	25ml	前日、3回以内		5月から7月は褐斑 病の重点防除時期	
		キンモンホソガ・シンクイムシ類	ノーモルト乳剤	2,000倍	50ml	前日、2回以内			
5	中旬	黒星病・褐斑病・斑点落葉病	ユニックス顆粒水和剤47	2,000倍	50 g	14日前、4回以内			幼果の果面保護のた めに必ずクレフノンを 加用する
		褐斑病・黒点病	トレノックスフロアブル	500倍	200ml	30日前、5回以内			
		(果面保護)	クレフノン	100倍	1kg				
6	下旬	黒星病・褐斑病・黒点病・ 斑点落葉病	デランフロアブル	2,000倍	50ml	60日前、3回以内	アブラムシ類の発生 が多い場合は、バリ アード顆粒水和剤 4,000倍(収穫前日ま で、年間3回以内)を 散布する		
		ハマキムシ類・ケムシ類・ キンモンホソガ	サムコルフロアブル10	5,000倍	20ml	前日、3回以内			
		(果面保護)	クレフノン	100倍	1kg				
7	上旬	黒星病・褐斑病・斑点落葉病・ 炭そ病	デランフロアブル	2,000倍	50ml	600 ℓ	60日前、3回以内	ハダニ類の発生に注 意し、初期防除に努 める	
		リンゴハダニ・ナミハダニ	ダニゲッターフロアブル	2,000倍	50ml		前日、1回		
		(果面保護)	クレフノン	100倍	1kg				
8	6月	中旬	輪紋病・褐斑病・斑点落葉病	ナリアWDG	2,000倍	50 g	500 ℓ	前日、3回以内	6月中旬から7月中旬 は輪紋病の重点防除 時期薬剤の到達性を 高めるため、主枝や亜 主枝、主幹部から発 生しているひこばえを 整理する
			カメムシ類・シンクイムシ類・ ハマキムシ類・リンゴワタムシ	サイアノックス水和剤	1,000倍	100 g		14日前、1回	
9	下旬	輪紋病・斑点落葉病	オキシラン水和剤	500倍	200 g	14日前、4回以内			
		褐斑病	トップジンM水和剤	1,500倍	66 g	前日、6回以内			
		アブラムシ類・キンモンホソガ・ モモシンクイガ・カメムシ類	キラップフロアブル	2,000倍	50ml	14日前、2回以内			

※令和6年12月11日現在の農業登録内容に基づいて作成。農業の使用にあたっては、必ず最新の登録情報を確認して使用すること。

ダイアジノン水和剤34 デランフロアブル バリアード顆粒水和剤 } の引き渡しには、印鑑が必要。(劇物)
モスピラン顆粒水溶剤 ベフラン液剤25 カナメフロアブル

回数	月	散布時期	対象病害虫	薬 剤 名	希釈倍率	水100ℓ 当り薬量	10a当り 散布量	使用時期、 年間使用回数	注意事項
10	7月	上旬	輪紋病・褐斑病・斑点落葉病・炭そ病	バスポート顆粒水和剤	1,000倍	100 g	500ℓ	45日前、3回以内	前日、3回以内
			ケムシ類・シンクイムシ類・カメムシ類	ダントツ水溶剤	4,000倍	25 g			
11		中旬	褐斑病・斑点落葉病	ユニックス顆粒水和剤47	2,000倍	50 g	600ℓ	14日前、4回以内	カメムシ類の発生が予想される場合はキラップフロアブル(2,000倍、収穫14日前まで、年間2回以内)を散布する
			輪紋病	ベフラン液剤25	1,500倍	66ml		前日、3回以内	
12		下旬	アブラムシ類・ハマキムシ類・キンモンホソガ	ダイアジノン水和剤34	1,000倍	100 g		30日前、4回以内	
			褐斑病・斑点落葉病・炭そ病	ダイパワー水和剤	1,000倍	100 g	500ℓ	前日、3回以内	梅雨明け後の高温時にナミハダニ・リンゴハダニの急増が見られたら、早急にマイトコーネフロアブル(1,000倍、収穫前日まで、年間1回)を散布する
		ハダニ類	スターマイトフロアブル	2,000倍	50ml			前日、1回	
13	8月	上旬	褐斑病・斑点落葉病	ドキリンフロアブル	1,000倍	100ml	500ℓ	14日前、4回以内	褐斑病の兆候が見られる園ではトップジンM水和剤(1,500倍、収穫前日まで、年間6回以内)を散布する
			カメムシ類・シンクイムシ類・リンゴワタムシ	モスピラン顆粒水溶剤	4,000倍	25 g		前日、3回以内	
		中旬	褐斑病・すす点病・すす斑病	トップジンM水和剤	1,500倍	66 g		前日、6回以内	
14		中下旬	褐斑病・斑点落葉病・炭そ病	ダイパワー水和剤	1,000倍	100 g	500ℓ	前日、3回以内	
	キンモンホソガ・シンクイムシ類		ノーモルト乳剤	2,000倍	50ml	前日、2回以内			
15		上旬	輪紋病・褐斑病・斑点落葉病・炭そ病	ストロビードライフフロアブル	3,000倍	33 g	500ℓ	前日、3回以内	ハダニ類の発生が見られる場合にオマイト水和剤(750倍、収穫3日前まで、年間1回)を加用又は単用散布する
			ハマキムシ類・ケムシ類	フェニックス顆粒水和剤	4,000倍	25 g		前日、2回以内	
16	9月	中旬	褐斑病・斑点落葉病・すす点病・すす斑病	ベフラン液剤25	1,500倍	66ml	500ℓ	前日、3回以内	炭そ病の多い園地では、オーソサイド水和剤80(800倍、収穫前日まで、年間6回以内)を加用する
17		下旬	褐斑病・斑点落葉病・すす点病・すす斑病	ストライド顆粒水和剤	1,500倍	66 g		前日、3回以内	

※農業散布時は、周囲の他の作物や住宅、人、車等にかからないよう、風向き等に十分注意する。
※薬液はかけムラの無いよう、葉裏にも十分かける。
※雨後散布では殺菌剤の効果が劣るので、梅雨時期は特に雨前散布に心がける。
※7～8月の気温の高い時期は薬害の恐れがあるので、日中の暑い時間帯の散布は避ける。
※ダイパワー水和剤はベフラン液剤＋オーソサイド水和剤の混合剤であり、使用回数はそれぞれの薬剤に従う。
※防除の際には展着剤（マイリノー）を加用する。